

市民アンケート

- ①性別:1、男 2、女 3、その他
 ②地区:1、鎌倉地区 2、深沢地区 3、腰越地区 4 大船地区 5、玉縄地区 6、市内在勤
 ③年代:1、10～30代 2、40代 3、50代 4、60代 5、70代 6、80代 7、90代～
 ④隣近所との付き合いについて:1、日ごろから付き合いがある 2、挨拶程度 3、あまりない 4、全くない 5、関心がない
 ⑤近所に気にかかる家はありますか:1、ある 2、全くない 3、関心がない 4、関心はあるが情報がない
 ⑥自治会町内会活動に参加していますか:1、参加している 2、参加していない 3、関心がない 4、関心はあるが時間がない 5、関心はあるが情報がない
 ⑦地域活動(ボランティア活動、NPO活動など)に参加していますか:1、参加している 2、参加していない 3、関心がない 4、関心はあるが時間がない 5、関心はあるが情報がない
 ⑧思われたまちづくりのためにあなたは力を発揮する気持ちはありますか:1、ある 2、関心がない 3、関心はあるが何をすればいいかわからない 4、関心はあるが時間がない 5、関心はあるが情報がない

①性別	②地区	③年代	④隣近所	⑤気に	⑥自治会	⑦地域活動	⑧誰もが住みやすいまちとはどのようなまちを思われますか	⑨気持ち	⑩つながりささえあうまちを目指して何が必要になるか自由に記載してください
2	4	3	1	1	1	2	地域の関わりや行政との関わりをもっと簡単にできる環境作り? ※原文ママ	3	-
1	1	4	1	1	4	4	子どもの笑い声がひびく町	3	声をかけあう町
2	1	3	1	1	1	2	ご近所で助け合える(必要な時) おせっかいができる関係性がある	1	赤ちゃんから老人までが一緒に気軽に集える、安心した場所
1	2	1	2	3	1	3	お金と心にゆとりのあるまち、貧困のないまち	2	行政が主導するだけでなく、住民ひとりひとりが身のまわりの課題に対して、自分ごととしてとりくめるまち。意識改革が必要か。
2	6	1	2	3	2	3	住んでいる地域の情報(市政ほかお店なども含む)をきける相手が身近にいる。でも一方的でなく、お互い様の関係での、助けを求められる。交通の便がいいところ。	9	例えがないとイメージできない
1	6	1	4	2	4	4	-	3	誰かがやってくれる・やるべきという意識の改善が必要と思われる
1	6	2	2	2	2	2	困っている人がいる時に、誰かに気軽に相談ができるまち。インフラがバリアフリー化されているまち。地域の情報、災害の情報がしっかりと共有できるまち。好きなこと(陶芸、スポーツ等)が共有できるような地域コミュニティ	4	勤め現役世代が、なかなか地域と接する時間がなく、その時間の確保。時間がある世代とない世代の時間の共有化。皆が集まる緑あふれるオシャレで素敵な公園(カフェがあったり)
2	6	2	2	2	1	2	行きたいところ、やりたいところなど誰もがスムーズにできるようなまち	4	-
1	6	1	2	1	5	2	暮らしに必要な情報がわかりやすく整っており、簡単に得られるようなまち。地域活動が重荷にならないような仕組みが整っているまち	1	地域の情報をわかりやすく、整理し、周知していくこと
2	6	3	2	2	4	4	近所の人たちが声をかけ合える。顔を合わせれば必ず挨拶しあう。最低限の日用品や食料を徒歩5～10分圏内で調達できる。夜間道路の暗がりが少ない。	4	自治会の中でのまとまり、協力体制
2	3	3	2	2	2	4	様々な価値観の人が共存できるまち	4	「つながる」「ささえる」は本人の意思がないと成り立たないと思うので、「つながってみよう」「ささえてみよう」と思えるような様々な内容、形態での情報発信が必要かと思う。
1	6	3	4	2	2	2	近隣と方々とはあまり交流なく挨拶程度するくらい関係であればよいと思う。	2	特になし
1	6	1	2	2	2	2	-	3	-
2	6	2	2	1	1	1	けがや病気により障がいや生活のしにくさを感じるようになって、住みなれた地域・自宅で過ごすことができるという安心感を持てるまち	1	支援の担い手づくり。継続した支援(ゆるく・長く)が可能となる仕組みづくり。地域共生社会の考え方を地域に浸透させる。
1	9	3	2	1	2	2	-	3	まずは隣近所の人に関心をもつこと(良い意味で)。例えば昨日まで普通に歩いていた人が杖をついて歩いていたとか、そういう意識が必要ではないか。そういうことから、次に顔をあわせた時に挨拶プラスアルファの会話ができるようになると思う。
1	1	6	1	2	1	1	隣組を中心に、町内に住む方々と親しく付き合っていけるまちが住み易いまちと思う。	1	つながり支え合うまちを目指す為には、先ず第一に町内で会ったら互いに挨拶することが必要と思う。挨拶を交わすと親近感が持てるようになる。挨拶を積極的に実行していくことは、まちの防犯にもつながることと信じている。
2	6	1	4	1	4	4	隣近所が顔見知り、あいさつがあるまち	1	顔見知りになったり、言葉をかかわすきっかけづくりが必要。子どもがいる家庭や高齢者どおしはきっかけも多いが、夫婦共働きで子どもがいない人にとっては、お祭りなどの地域のイベントすらハードルが高い。
1	6	3	2	1	1	1	子育て世代の家族が転入、転居したくなるようなまち。孤独死が発生しないようなまち。障害者が親亡き後も住み続けられるようなまち。自殺者が発生しないようなまち。犯罪率が低いようなまち。	1	自治町内会活動を活性化させるための仕組みづくり。
2	1	3	1	1	1	1	高齢者や障害者、認知症の方々に配慮したまち。例えば段差をなくすなど環境面と、ハンデといわれるできないことをそのまま受け入れる心のソフト面。	1	先ずは今のこの現状を変えようとする意識。それから目標に向かっていく。
2	6	2	2	4	2	2	-	4	-

市民アンケート

①性別	②地区	③年代	④隣近所	⑤気に	⑥自治会	⑦地域活動	⑧誰もが住みやすいまちとはどのようなまちを思われますか	⑨気持ち	⑩つながりさえあうまちを目指して何が必要になるか自由に記載してください
1	6	3	1	1	1	1	おしつけがましくない、さりげない見守りができるご近所、地域つきあい。	1	強制でなく、自分のできることを地域に提供していく。ボランティアとかでなく、住民同士の立場で活動できれば、しばられずに活動できます。まずは、自身の心身にゆとりがないと。”ゆとり”がつながり、ささえにつながる。
1	6	2	2	1	2	2	個人の尊厳が守られる、適度な関心を住民同士が持っているまち	1	個人個人違いがある。一般的よりも個別に対応でき、困ったときに迅速に応じられる情報を得やすい相談場所の創設などかなと思う。
2	6	4	2	2	2	2	誰かにあからさまに監視されていないまち。個人情報を守られるまち。困っている人がいたら知らない人でも自然に手を貸せる人々にあふれたまち。	4	強制や命令のないネットワーク。皆が集まる場所。
2	6	1	2	2	2	2	いろいろな年代の人が一緒に安心して暮らせるまち。	3	-
2	6	4	1	2	1	4	-	3	-
1	6	1	2	1	4	4	-	5	-
1	3	4	2	2	2	2	次世代、次々世代の若者が住みやすい環境にする。	4	-
1	6	1	2	1	1	2	-	9	-
1	3	5	2	2	1	2	私の地区は、他人に無関心な人が多いように思われる。個々人が自立した生き方ができるのであれば、それはそれで良いと思う。給食ボランティア(妻がしている)などでは、お年寄りが楽しみにしている人もいと聞くので、コミュニケーションを取るのが、うまくないのかと思われる。少子高齢社会では、子どもとの交流、公園などもお年寄りが軽い運動ができるものにするなど、工夫が必要(シニア向け公園作り)	4	つながりは、年をとってからでは遅い。最近では、子ども会の活動などが弱くなっている。若い人たちに、地域との行事などを通じて、関係性を持たせなければ、社会の一員との理解が深まらない。つながりさえあいは、必要なことだが、これだけでは、解決できない。社会全体が軟弱になっている。特にお年寄りには、個々人の生き方若い人に示さなければとの、気概が必要である。今や、お年よりは弱者ではない。
1	1	4	1	1	1	9	-	3	-
2	1	2	2	2	1	4	いつも挨拶がかわされ、となり近所にどんな方が住んでいるのか皆で知っている、又は自治会が活発に活動されているようなまち	1	外出したいが、一人では外出できない方や高齢者の方がつどえる場所と、それをお手伝いできるボランティアが出来るシステムがあると、少しの時間でだれでも参加できるのではないかな。
1	3	4	1	9	1	1	自治会や町内での活動を気軽に少人数でも集まってできる様にふやしていく	3	-
1	6	3	3	1	2	2	困っている近隣の人がいいたら、積極的に援助の手を差し出す人々が住む街	3	どんな人が住人であるか、わからない街ではなく、どんな人が住んでいるかがわかる街づくり。それには近隣住民の交流の機会や場所をつくるのが有効だと思う。
2	6	3	2	1	2	2	治安がよい	2	-
2	6	1	3	3	2	2	-	4	-
2	6	1	1	2	1	4	各々が穏やかに暮らしていて、災害時や緊急性があるときは助け合えるまち。過干渉であっては良くないが、助け合うべきときには助け合えるような関係が望ましいと思った。	4	顔を合わせれば挨拶する関係
1	6	3	1	2	1	2	コミュニティが充実したまち	1	-
2	1	5	1	1	1	1	子供・高齢者・障害者が安心して住み続ける事ができ、観光客との良い関係、住んでいる人が迷惑にならないような街。特に交通機関。	9	横浜等で実施されている高齢者への半額交通キップ等、今迄長期間納税していたので、是非検討してほしい。気軽に外出でき、寝たきり・介護等が減るのではと思う。
1	6	1	2	1	1	1	質問内容が抽象的で一概には言えませんが、自分の属しているコミュニティに愛着を持ち、そのコミュニティのために何かをしたい、と思える人がたくさんいるまちではないかと思う。そのためにまず、自分の住む地域がどのような場所であるか、どのような課題があるかをパブリックに発信していく。いま主体となって活動している人だけではなく、活動していない人への訴えかけるような取組(HP、SNS、口コミ等)を、まずは進めていくことではないでしょうか。	1	スウェーデンには雪が降ったとき、自分の家の前の雪かきをしなければならない、という条例がある。あくまで一例だが、鎌倉市もある程度、行政が主体となり、目指す方向性を明確に具体的に示すような実行力のある政策を打出してもらえたらと思う。
1	2	6	1	1	1	2	挨拶できるまち	9	-
2	5	4	1	1	1	1	家のなかに閉じこもらないことを心がけている	1	いろいろな行事をつくったり、実行していったりして、少しずつ仲間づくりをすることがよい。
1	5	5	1	4	5	2	程良い近所つきあい、清掃(一斉)・雪かき・防犯活動	3	勉強会や体験会には参加してみたい
1	5	6	2	1	1	2	友人・知人はだんだん減っていく。新しい住民との交流ができる場が欲しい。	3	同上。(※⑧に同じの意か)
1	5	5	2	4	3	3	-	9	-
2	9	5	1	1	1	4	買い物や病院に行きやすいこと。	3	バランスのとれた年代構成の住人かな。
2	5	4	2	2	2	2	気がねなく暮らせればよい	2	自由に生きたい
2	5	4	5	3	3	3	-	9	-
1	5	5	3	3	3	3	-	9	-
2	5	5	2	4	2	2	-	2	-

市民アンケート

①性別	②地区	③年代	④隣近所	⑤気に	⑥自治会	⑦地域活動	⑧誰もが住みやすいまちとはどのようなまちを思われますか	⑨気持ち	⑩つながりさえあうまちを目指して何が必要になるか自由に記載してください
2	5	6	2	3	2	2	-	2	-
1	4	5	2	1	1	4	-	5	-
1	4	5	1	9	1	1	笑顔で、挨拶・会話に努め、労り合う町	4	負担にならぬように、常に近隣に目配り。人の痛みを無視せぬこと。「つながりさえあうまち」＝一致協力して事に当れ。
1	4	6	1	4	4	1	-	1	-
2	1	4	1	2	1	2	-	3	-
2	1	6	1	2	1	2	-	3	-
2	1	5	1	2	1	2	老人にやさしい町	3	-
2	2	6	1	2	4	2	色々な活動に参加しているが、年間の交通費が6万円弱、何とかしなければと思っている。	9	-
1	4	5	1	2	1	2	気軽に声掛けが出来、世代を問わず、賑やかなまち。	1	高齢者を大事にする事も重要だが、これから活躍する若い世代が気軽に町内活動に参画できるよう、若い人達の気がまても必要。働き方(時間制限も厳しい)か？
2	4	5	1	2	2	2	明るい町。お互い元気で人にやさしい事。	1	-
2	4	6	2	2	1	1	みんなが笑顔で挨拶が出来る街なら良いと思う。	1	人に対してやさしくしたいです。
2	2	4	2	2	1	5	老若男女・誰もがあんしんして住めるまち	5	地域住民がまずお互いに知り合う事が大切。コミュニケーションを図れる場をつくること。
1	6	4	3	4	2	2	-	5	-
1	4	4	1	1	1	2	お互いが顔見知りで、困ったときなどに相談や手助けができる。道路に段差がなく、子どもや老人の集まれる公園、会館を備える。お金ではなく、近所どおし、おすそ分けやものの貸し借りができる。	1	町内・自治会館の利用 会議、サークル活動以外で、空いている曜日・時間帯は開放しておく。身近かで親しみやすいイベント・文化活動を創意工夫して行う。これらは一時的に集まり、解散する場ではなく、次のサロン、講座、運動会など次につながるようにする。通学路に見守りとして老人が立つ。
1	4	5	1	1	1	1	-	1	自分から行動する。
2	1	4	2	2	2	2	(1) 憩いの場、集いの場となる公園や広場がある町 (2) 緑の多い自然環境に恵まれた町 (3) 車優先でなく人間優先である町 (4) ネコ(平和のシンボル)さえのんびり暮らせる優しい町 (5) 安心安全の治安の良い町	3	⑧の解答と重複するが、まずは人々が憩い、集える緑豊かな公園を整備することを提案したい。鎌倉にはそのような公園がないことはとても残念に思っている。例えば、近所の「公園」は「空地」のようで誰も寄り付かない。隅に置かれた小さい丸いイスは、誰も座らず(高齢者には座り難い)、年に一度の盆踊りにだけ使われる広場となっている。また笛田の夫婦池公園はせっかく美しい池があるのにほとんど誰も見かけない。もし池の辺にベンチを並べて置けば、自然と人が集まってくるのではないかと思う。ベンチは高齢者も座りやすい背もたれのあるベンチが良い。ベンチの回りに人が集まり、憩い、次第に顔見知りができ、言葉を交わし、つながりができる。そんな場があると良い。「何が必要になるか」と問われれば「公園とベンチ」と答えたいと思う。
1	1	4	1	1	1	1	-	9	-
2	1	5	2	1	2	2	お互いを尊重し、思いやる。	9	ささえ合う力がなくなってきた
1	1	5	1	1	1	1	広く周囲に関心を持ち、互いに存在を尊重し合う事。無関心は自分をもそうさせる事を自覚すべき。その様な人の住む街をしたい。	1	先ず自分の出来る事を知ってもらい、その考えを互いに認め合い、相互に尊重し合う事。時間がかかるし単純ではないが、互いに知り知ってもらう事が第一。決して閉鎖的にならない事。自信を持って何かを信じて生きる事。
2	1	4	2	1	1	2	安心安全で気軽にあいさつができるまち。子供達にあいさつをすると無視されたり、あいさつの出来る子と別れていて、とても複雑な幹事を受ける。	1	寄り合い場所。町の中に気軽にお茶出来る場所がほしい。
2	1	5	2	2	1	4	疎外感、強制、おしつけなどが無い。おしつけの親切がない。	9	-
2	4	5	1	1	1	1	地区の行事等参加し会話をしたり、挨拶を出来るだけしあう。この町に住み本当に良かった町と思えるようにお互い様譲り合う気持ちを忘れない努力。	1	古いも若き者も気配りを運ぶ大切さ。
2	4	5	1	1	5	1	町内会とのコミュニケーションが取れている町	1	街角あたり点々にイスがあり、ちょっと話をしたり歩いてつかれたりしたときの腰を下ろす所があると良いかも。
2	1	4	1	2	5	2	子供が外で安心して遊べる町	1	公民館がもっと明るく使いやすく、子供も共に集える場所になる。暗いところは外灯が必要。
1	1	5	2	9	9	1	わからない！！	9	-

市民アンケート

①性別	②地区	③年代	④隣近所	⑤気に	⑥自治会	⑦地域活動	⑧誰もが住みやすいまちとはどのようなまちを思われますか	⑨気持ち	⑩つながりさえあうまちを目指して何が必要になるか自由に記載してください
2	4	2	2	1	1	4	クリーンステーションごみ出し問題 クリーンステーション付近に住む住民としては、マナーの守れない人のおかげでゴミが散乱して不快な思いをしている。ゴミのマナー守れて気持ちよく生活できる。鎌倉市は土地があるとどんどんマンション・アパート・家をたてていく。住民が気軽に立ち寄れる公園・あそび場等わざわざ足をのばさないと行けない公園ではなく、生活圏域で子どもから高齢者、妊産婦もいきやすい場所に公園等があるまち。	4	そもそも住民が「つながり」を求めているのか。誰か「つながりさえあうまち」を目指しているのか。誰が必要としているのか。大人になってから、そのことを考えるのはおそすぎる。子どもの頃から、その意識をもってもらうための「福祉教育」や幅広い住民層にその意識をもってもらうための「住民の福祉教育」が必要と思われる。そのためには、住民の意識改革と共に、行政の縦割りも見直す必要があると共に、行政職員一人一人が「かまくらさえあい福祉プラン」で鎌倉市がどうあるべきかも考えて頂きたい。又、このアンケートを行政職員全員にもこたえて頂きたい。
1	6	1	4	1	1	1	家から買い物に出掛けることが、体に悪くてもできるまち。地域の人と自然とつながることができるまち。年代の違いを超えて集まれる場所がどこも家の近くにあるまち	4	自分が生まれた土地をふるさとと感じて、長く住みたい、または、また戻ってきたい、と思えるまちを目指すと思う。
1	6	3	2	2	2	2	交通の便がよいまち。歩いて用をすますことができるまち。静かで自然が豊かなまち。	4	住民意識の変革。こころの豊かさを育むこと。市民意識の向上。
2	3	3	1	1	1	2	高齢者になっても、今の家にらせる事ができる。買い物、出掛けられるシステムがある。気軽に使えるボランティアがある。	4	地域で話し合いのできる関係(普段から(早いうちから)頼み事のできる人を見つけておく)
2	2	1	1	2	1	2	隣人をはじめ、町内の住人同士が顔見知りで挨拶を交わせること。(防犯にもつながるし、災害時に助け合いしやすいと思う。)障がいのある方・子ども・高齢者問わず、心もハード面もバリアフリーになれる雰囲気作り。子育てしやすい環境(金銭面含む)をもっと考えていきたい。	3	地域の皆が交流できる場や情報の提供。アピールの仕方の工夫。(どんなに働きかけても関心がなければ意味がないけれど...)近所付き合いしやすい雰囲気作り。個人情報保護により、連絡がとれない。(働きざかりの世代は、平日の日中不在なこともあり、近所がとても静かである。緊急時、どの程度さえ合えるのか心配。)古き良き時代に戻る部分があっても良いのかな?と。
2	2	1	1	2	1	2	ごみがおちていないあいさつをあたりまえにでき、自然が多くリサイクルできる物がたくさんある町。	3	日ごろからあいさつをかかさないようにする
2	2	9	1	2	2	2	あそびばがいっぱいあるまちがいい	3	ともだちになろうっていう